

# だいにぎ議会だより



消防出初め式 幼年消防クラブの行進（だいご保育園）

一般会計補正予算	(2)
第4回定例会で審議された議案	(3)
議案の賛否状況	(3)
一般質問（6人が登壇し、町政を問う）	(4)～(9)
常任委員会報告・あとがき	(10)

No.  
**176**  
平成26年  
1月17日

# 平成25年第4回定例会

## 全議案 原案可決

### 一般会計

# 1億4567万6千円の増額

一般会計補正予算(第6号)の主な歳入及び歳出は、別表のとおりです。補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ93億4104万4千円となりました。歳入歳出予算のほか、継続費の設定2件、債務負担行為の追加3件、地方債の追加1件及び変更4件がありました。国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)では、歳出において一般被保険者療養給付費及び償還金の増額、後



益子英明 町長

平成25年第4回定例会が、12月4日から12日までの9日間の会期で開かれました。条例の制定及び改正、平成25年度一般会計・特別会計補正予算、人事案件など町長から提出された議案13件を審議し、原案どおり可決されました。また、議員提出議案の「道州制導入に断固反対する意見書」は全会一致で可決され、国会及び関係省庁に意見書が提出されました。一般質問には6人の議員が登壇し、町政に対しての質問、答弁が展開されました。

期高齢者支  
援金、介護  
納付金等の  
減額、歳入  
において国  
庫支出金、  
療養給付費  
等交付金、  
県支出金の  
補正があり  
ましたが、  
歳入歳出予  
算内での組  
替えのため  
予算額の変  
更はありま  
せん。

### 一般会計補正予算の主なもの

歳 入	補 正 額
地方交付税	1億 24万8千円
国庫支出金	1,118万3千円
県支出金	1,139万8千円
繰越金	1,219万6千円
町債	510万円

歳 出	補 正 額
教育用コンピュータ(小学校)購入費	6,483万8千円
土木施設単独災害復旧事業費	738万4千円
辺地共聴施設整備事業補助金	550万9千円
農業施設単独災害復旧事業費	435万9千円
河川補助災害復旧事業費	420万4千円
土木施設補助災害復旧事業費	310万3千円

議会を  
傍聴  
しましょう

議会傍聴は町政を知る良い機会です。お気軽にお出かけください。

#### 3月定例会開催予定

▽5日(水) 開 会

▽6日(木) ～ 9日(日) 休会・自宅審議

▽10日(月) 一般質問

▽11日(火) ～ 12日(水) 休会・自宅審議

▽13日(木) 一般質問

▽14日(金) 一般質問

▽15日(土) ～ 16日(日) 休会・自宅審議

▽17日(月) 逐条審議

▽18日(火) 逐条審議

閉 会

※詳細は議会事務局にお問い合わせください。

(072-11115)

## 提出議案等と審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第94号	権利の放棄の専決処分承認を求めることについて	原案承認
議案第95号	大子町子ども・子育て会議条例	原案可決
議案第96号	大子町ふるさと農園に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第97号	大子町税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第98号	大子町手数料徴収条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第99号	大子町保育所設置条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第100号	大子町営住宅及び特定町営住宅条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第101号	大子町子育て支援住宅条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第102号	八溝山周辺地域定住自立圏の形成に関する協定の締結について	原案可決
議案第103号	行政情報ネットワーク用端末機器の取得について	原案可決
議案第104号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案適任
議案第105号	平成25年度大子町一般会計補正予算（第6号）	原案可決
議案第106号	平成25年度大子町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議員提出議案 第5号	道州制導入に断固反対する意見書	原案可決
議員提出議案 第6号	中国による防空識別圏の設定の即時撤回を求める決議	原案可決

## 議案の賛否状況

採決に当たり、意見が分かれた議案の賛否状況をお知らせします。

議案番号	議 案 名	賛否数		議 員 名														
		賛成	反対	菊池靖一	櫻岡義信	中郡一彦	岡田敏克	大森勝夫	金澤真人	齋藤忠一	佐藤正弘	鈴木陸郎	藤田友晴	藤田稔	野内健一	藤田健	吉成好信	小林秀次
議案第99号	大子町保育所設置条例の一部を改正する条例	11	1	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	欠	○	-	欠
議案第102号	八溝山周辺地域定住自立圏の形成に関する協定の締結について	11	1	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	欠	○	-	欠

※○＝賛成、×＝反対、欠＝欠席 議長（吉成好信議員）は採決に加わりません。

# 一般質問

## 町の実情にあった事業計画を

### 答 町民の意見を反映した計画で



藤田 稔 議員

を活用したい。

**問** 池田町営住宅や環境センター建替え等の債務負担も考えて進めるべきでは。

**答 財政課長**

環境センターに関しては25～27年の3か年事業で、総事業費約28億円を予定している。7億2千万円が交付金、地方債16億7千万円、一般財源4億と考えている。

**答 町長**

事業推進においては、国、県等の支援も含めた財源措置も検討したい。

**問** 住民参加のワークショップを実施し、概算事業費や維持管理費等も示して町民の意見を反映した計画内容にする。

**答 企画室長**

事業の交付金はどのようなものを考えているか。社会資本整備総合交付金

施する。また、保護者、学

識経験者等で15名での委員会を組織し、意見を取り入れながら策定に取り組む。

**問** 事業の財源予定は。

**答 福祉課長**

消費税を活用した予算7千億円が各自治体に配分される予定である。

### 高齢者等への福祉向上の推進は

**問** 高齢者等に対する福祉向上を図るうえで乗り合いタクシーに代わる事業を考

えるべきではないか。また、町営無料バスの運行、生き生き外出事業の現状は。

**答 企画観光課長**

外出助成事業を拡充して、年齢を65歳に引き下げ、利用料金の2分の1を助成できるように検討したい。

**答 企画室長**

町民無料バスは、袋田滝本地区と南田気等を含めた袋田駅前地区の運行を検討している。

**問** 消防力の整備指針に基

づき資機材の整備、消防職員の増員を図り、消防行政の充実を図るべきではないか。

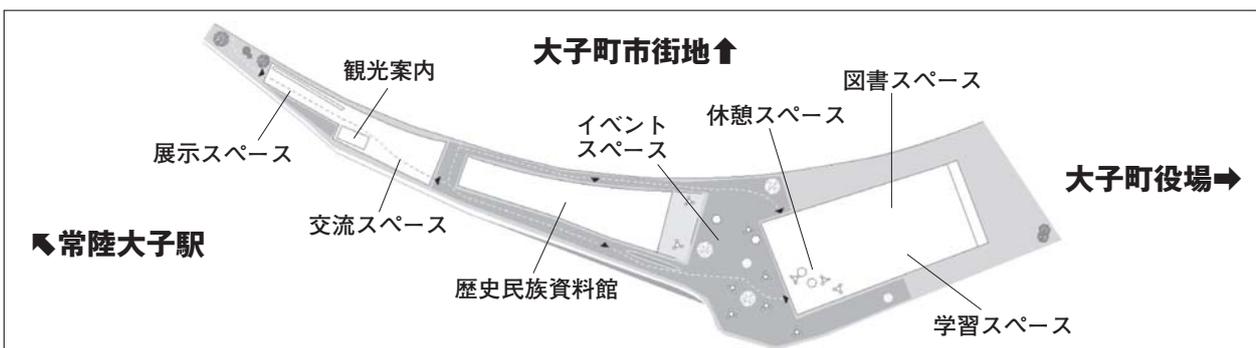
**答 消防長**

町の整備資機材は、老朽化している。町民の安心・安全のためには早急な配備が必要である。消防職員は、計画的に条例定数にする必要がある。

**問** 平成25年度おける観光関連整備改修事業等の進捗状況はどうか。

**答 町長**

袋田第2トイレの改修工事は1月着手に向けて入札準備中。トンネル内イルミネーションは修繕に多額の経費が想定され、撤去か飾りを活用した方法で。トンネル入り口階段は四季を通した花を植栽したプランターの設置を検討している。



文化交流拠点施設配置図(素案)



# 一般質問

## 行政評価書の内容は、満足か

### 答 公表できたことに関しては満足



野内健一 議員

**問** 今回公表された大子町行政評価報告書は、平成24年度に実施された行政事業のうち40事業について評価しているが、その内容について満足のいくものであったか。

**答 町長** まずは公表できたことに関して満足のいくものがあった。

**問** 今後、この評価は行政事業の改善にどのように反映されるのか。

**答 町長** 今回が初めての実施であ

り、公表した内容については、今後皆様から御意見等をいただいで、改善すべき点があれば改善し、見直しする点があれば見直しをしていく。

**問** この行政評価報告書は行政サービスを享受する町民のための評価であろうと思うが、町民の目が届くところにこの報告書を置くか、えはあるか。また、以前より要望している予算書や決算書も同様に、町民の皆様が集まる各地区の集会所等に配布する考えはあるか。

**答 町長** 配布を希望するコミュニティセンターや集会所があれば提供したい。

**問** 敬老祝事業の評価として、今後は対象年齢の引上げ等を検討する必要があるとなっているが。

**答 副町長** 一次評価としては対象年齢の引上げも検討、二次評価としては対象者の範囲見直しも視野に入れて長期的な視点で検討するとなっているが、今後の方向性としては現状維持という考えである。

**問** 観光宣伝広報事業についての評価として、観光協会への委託事業はマンネリ化しているとの指摘があったが。

**答 企画観光課長** テレビや新聞等の広報については、昔からの付き合いがあり思い切った転換ができ

ないのが現状。観光協会自らが直していくとの姿勢が見られないと、これ以上には進んでいかないと思う。  
**問** 袋田の滝ライトアップ事業についての評価としては、地元の人たちが自分たちが何をすべきか考えていただきたい、との強い表現の評価があったが。

**答 企画観光課長** 地元の対応について、協力をもらうのではなく、自分たちが何をすべきか考えていただきたいということである。観光は行政任せにしているのではなく、ある程度利益を享受している方は、自らこうしななければならぬという部分を考えてほしいということ。現時点では滝本地区の清流会の方たちにも御理解をいただき、いろいろな事業等において積極的に協力をいただいている。ライトアップ事業については、本格的に見直しをしていただき、最終的には1万人近い観光客の増加を見込めるのではないかと思います。



大子町役場全景



# 一般質問

## 道の駅だいにぎに駐車場増と足湯を

### 答 足湯の場所や規模を検討中



岡田敏克 議員

駐車場については、国交省の職員に相談している。

**問** 道の駅は県内にはかつら、みわ、さとみ、さかい、しもつま、たまつくり、いたこ、ごか、こが、だいにぎの10か所あり、平成27年度末に常陸太田市、常陸大宮市にそれぞれ完成。県北地域では道の駅戦国時代が始まる。道の駅だいにぎの誘客増のためには駐車場の増設が急務と思われる、架台を造り調整池に駐車スペースの確保を、更に食堂のメニューの見直しや工夫をすべきではないか。

**答 町長**

**問** これまでの責任者は、公務員をしてきた人が天下りで現場の責任者をやってきたが、現場の人たちの声やアイデアを取り上げてくれないとの声を聞く。このような体制では良くならない。公務員発想はダメである。現場の職員は一生懸命に頑張っているのだから、実際にやっている人たち

の意見を聞いたりすることが大事であり、少し目線が違っていると思われる。その点はどうか。

**答 町長**

現場からの声を直接上げていただくように理事会等で話している。その途中でそういう意見がなくなっているように私は捉えています。



道の駅奥久慈だいにぎ

**問** もう少し職員の話を良く聞いた方がいいと思う。

そこで、誘客増のために、不足している施設がほかにないのか聞きたい。

**答 町長**

駐車スペースの拡張、情報発信コーナーの整備、地元特産品の展示販売、温泉

### 子どもの健康不安解消に

### 甲状腺の検査を

**問** 東日本大震災で子どもの健康不安の解消について、町は希望者にホルボ

デイカウンター(WBC)内部被曝検査の実施をしてはどうか。この検査は、大子町から車で1時間半の福島県平田村で申し込みをすれば誰でも無料で受けられる。町で公用車(バス)を出して希望者に受けさせてはどうか。

**答 町長**

国から示される各施策や基準、茨城県及び県内各自治体の動向を注視し、適切に対応していきたい。

施設の充実等を検討している。

**問** 大子町は温泉の町。必要なのは足湯だと思うが。

**答 町長**

今、足湯の検討をしており場所、規模の検討段階にきている。

**問** 同じく甲状腺検査があり、県内では8市村が実施している。原発事故が沈黙化すると健康問題に焦点が移る。平田村で無料で受けられるので、希望者を募って町が車を出してやれば安心する。子どもの命を守るためにも周知して希望者があれば考えてはどうか。

**答 町長**

承知しました。

### その他の質問

○「大子のうた」CD制作について

# 一般質問

## 協定締結後の町へのメリットは

### 答国の財政支援が期待できる



大森勝夫 議員

4千万円、連携市町に1千万円を基に算定する財政支援がある。また国庫補助事業の優先選択というメリットもある。

問 協定の名称が「八溝山周辺地域定住自立圏構想」でありながら、圏域を結ぶ新設道路は困難であると研究報告書に記載されている。大子町のメリットは、八溝山を核とした連絡道路の実現による産業、観光の交流から発生すると考える。そのために、協定締結後の定住自立圏共生ビジョンに、八溝山を核とした周辺市町の連絡道路の整備を盛り込むよう働きかけるべきではないのか。

答 町長

大田原市を中心とした8市町で18の分野について協定を結び、後にメリットのない分野のみ抜けることができる。また、新たな分野で協定を結ぶことも可能なので、後にインフラ等に関する分野として考えることができる。

## 地域おこし協力隊の導入取組みは

問 町外から町内へ移住し、町おこし活動を行なう「地域おこし協力隊」の制度がある。町の財政負担がないため、採用している自治体も多い。大子町の取り組み状況は。

答 町長

募集の準備を進めている。12月中に関連ポータルサイトに募集要項を掲載し、1月下旬に東京で合同説明会、2月上旬に町で現地説明会を行なう。2月中

には隊員の採用決定の予定である。

問 隊員の活動テーマは何の分野を想定しているのか。

答 町長

起業、事業化型の活動である。町の特産品を使い、空き店舗等を活用して、加工販売などを行なう起業型の活動を想定している。町外者目線の発想と事業化による収入の確保により、任期後の隊員の定住化を期待している。

## 受信機ラジオの配布手法は

問 コミュニティFM放送は防災無線の役割も付与させている。そのため各世帯に受信機ラジオを配布するが、その配布手法は。

答 町長

基本的には郵便事業株式会社による宅配とし、75歳以上の一人暮らし世帯には行政職員が配布する。

与という認知度が低いと、料金徴収詐欺などトラブルの発生も懸念されないか。対応策の検討は。

答 町長

梱包内外に無償配布を明記するとともに、75歳以上の独居宅には職員2名の体制で配布、説明をする予定である。

答 町長

国の支援として中心市に



「八溝山周辺地域定住自立圏の形成に関する協定」を結ぶ8市町

# 一般質問

## コミュニティFMの全世帯受信は

### 【答】全家庭で100%受信できるようにする



佐藤正弘 議員

**問** コミュニティFM放送の事業が開発公社に委託されたが、安定した経営、町の財政負担をどのように考えているのか。

**答 町長**

収入として見込まれるのは、個人あるいは法人等による広告料収入及び受託収入である。不足する場合は町の一般会計より補助を予定しているが、膨大な金額にならないよう精査していく。

**問** 国が地上デジタル放送を進めたが、現在でも受信

できない世帯がある。コミュニティFMは町主体で整備が進められる。

受信できない世帯がないよう確実に対応ができるのか。

**答 町長**

町内に点在する7千数百世帯の全家庭が100%受信できるように整備を進める。



昨年12月24日に開局した「FMだいご」

## 中心市街地活性化基本構想の背景は

**問** 11月14日開催された大子町議会全員協議会において中心市街地活性化基本構

想(素案)が報告されたが、策定に至った理由、背景、

経過はどのようなものか。

**答 町長**

国道461号整備事業に伴う町有地残地の有効活用と中心市街地の賑わい創出

と活性化を図る目的で策定した。このたび素案が示され町議会議員、町民の方々に説明した次第である。

**問** 構想が町の事業として実施された場合の事業費、運営主体をどのように考えているのか。

**答 町長**

基本構想が策定された後、基本計画の策定に取り組むことになる。基本計画の策定において、町民の意見を集約し、整備計画の規模や方針が決定されることになる。現時点では理想的

## 学力テストと学校別の公表は

**問** 来年、4月に小学校6年生と中学校3年生を対象とした学力テストが行われる。最小の小学校では対象者が4名の学校がある。個人の成績が特定される可能性がある。テストそのものと学校別の公表をどのように考えるのか。

**答 教育長**

結果を有効に活用すれば

な形での内容構想であり、事業費や運営主体を示すものではなく、基本計画の策定を進める中での検討になる。

**問** 実現した場合、施設が将来にわたって維持できるのか。町民に対しどのような利益をもたらすのか。

**答 町長**

新たな拠点施設整備や住環境の整備により、住民同士の交流促進を図り文化的生活に寄与すること、そして交流人口増加による地域経済の活性化である。

教育改善につながる。極めて有効な資料として捉えている。個人情報保護という立場を考えれば、4名が特定できるおそれあるときには、学校ごとの公表は現時点では行うべきでないと考えている。

## 常任委員会報告

文教厚生委員会（藤田稔委員長）では、12月13日に南中学校校舎及びさはら小学校体育館の耐震補強工事の進捗状況を視察し、各学校の教諭、学校教育課職員からの説明を受けました。

視察後には、中央公民館において大子町教育委員会から清水洋太郎指導主事から大子町の学校教育の現況に関する講話を聞き、町立小中学校の状況についての認識を深めました。



▲さはら小学校体育館視察

## 「FMだいご」開局

各家庭、事業所等に配布される「緊急告知ラジオ」は、コンセント又は電池で電源が確保されていれば、電源が入っていなくても、緊急時には自動的にラジオ本体に電源が入り避難指示や避難勧告等の緊急情報放送が流れます。



▲放送局前でのテープカット

通常は、生活や行政に関する情報をはじめ、さまざまな身近な情報を聞くことができます。

町議会では、FM放送を

通じて議会の様子を音声でお届けすることが可能になることから、議会の音声放送を検討しています。議会について町民の皆様に関心を持っていただき、より身近になることが期待されます。

## 人権擁護委員に 中原恭子さんを推薦

人権擁護委員の須藤恭子さんが平成26年3月31日で任期満了により退任するた

め、後任として中原恭子さん（頃藤）を法務大臣に推薦することにしました。任期は3年です。

## 今回の表紙

1月13日に文化福祉会館「まいん」の駐車場で消防出初め式が行われました。

式典後、消防車両、消防団員、婦人防火クラブに続き、幼稚園・保育所等の子どもたちが元気に駅前通りを分列行進しました。

（だいご保育園提供）

## インターネットで 会議録が ご覧になれます

大子町議会のホームページ（<http://www.kaigiroku.net/kensaku/daigo.html>）で平成23年からの定例会及び臨時会の会議録が閲覧できます。目次からの閲覧のほか、発言者やキーワードにより詳しく検索したり、議員や答弁者からも検索してご覧いただけます。また、使い方の説明や議会用語集も掲載してありますので、御利用ください。



### ★大子町のホームページからご覧になるには

トップページの「行政・くらし」をクリック ⇒ 各課紹介「議会事務局」をクリック ⇒ 「大子町議会会議録の検索・閲覧」をクリック ⇒ 「会議録検索システム」をクリックにより、大子町議会のホームページに入ります。

## あとがき

新しい年が明け1か月が過ぎました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

土の中では動植物が春に向かって動き出しています。大子の里にもやがて命の輝きを見せてくれる季節がやってきます。

町議会においても今年「大子町議会基本条例」の制定を予定し、更に3月議会において、新年度予算案審議を前にしたより綿密な審議の実施等、町民の皆様がより安全で安心した暮らしの実現に向け、15名の議員は皆様からの御意見をいただきながら研究を重ねております。皆様、どうぞ御期待ください。

（野内健一）